allcinema

プロデューサーズ（1968）

THE PRODUCERS

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 88分
初公開日 2001/01/01
公開情報 ザジフィルムズ

【解説】

有閑老婦人の御機嫌をとっては日銭を稼いでるブロードウェイの演劇プロデューサー、マックス・ビアリストック（モステル）の事務所に会計士レオ・ブルーム（ワイルダー）がやって来た。レオのこぼした“どんなに高額の製作費でも赤字なら帳消しにできる”という言葉にひらめいたマックスは、できる限りスポンサーを募って金を集めた上で、史上最低の脚本・演出・役者を揃えてわざと芝居を打ち切らせれば、実製作費以外は全部フトコロに入れられると考えた。早速、いやがるレオをパートナーに脚本探しを始めるマックス。そして遂に『ヒトラーの春』と題されたナチ礼賛のとんでもないシナリオが見つかった！

ＴＶ界の才人Ｍ・ブルックスの本格的映画進出第一作で、いきなりアカデミー脚本賞を受賞しているが、それも納得の面白さ。大方の察し通り（マックスとレオ以外か）、芝居は不評どころか爆笑に次ぐ爆笑で大ウケしてしまうのだが、そんな事は百も承知の脚本は最後の最後まで実に良く出来ている。愛すべき巨漢のマックス、過度の神経質で興奮すると手がつけられないレオをはじめ、大真面目に書いたシナリオを笑い者にされ激怒する脚本家、オカマの演出家、英語もろくにしゃべれない美人秘書（“仕事をしろ”と言われると服を脱いで踊り出す）など奇妙なキャラクターのオンパレード。特に芝居の主役に抜擢されたＬＳＤ（Ｄ・ショーン）のスティーヴ・マーティン的キレ具合はたまらない。主題歌“Springtime for Hitler”（作詞・作曲ブルックス）からスタートするミュージカル『ヒトラーの春』も最高だ。ブロードウェイの裏側を皮肉と愛情をこめて描き出した傑作コメディ。この９０分弱は、大いに楽しめる。以前にビデオがリリースされただけの陽のあたらない傑作だったが、２０００年の暮れになってようやく劇場公開された。

【クレジット】

監督	メル・ブルックス	Mel Brooks
製作	シドニー・グレイジャー	Sidney Glazier
脚本	メル・ブルックス	Mel Brooks
撮影	ジョセフ・コフィ	Joseph Coffey
音楽	ジョン・モリス	John Morris
出演	ゼロ・モステル	Zero Mostel
	ジーン・ワイルダー	Gene Wilder
	ケネス・マース	Kenneth Mars
	ディック・ショーン	Dick Shawn
	リー・メレディス	Lee Meredith
	クリストファー・ヒュウェット	
	アンドレアス・ヴォウスティナス	
	エステル・ウィンウッド	Estelle Winwood
	レニー・テイラー	Renee Taylor

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ビル・ヒッキー	Bill Hickey
バーニー・マーティン	Barney Martin

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.